

THE RECORD

社団法人 日本レコード協会

平成8年10月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN 〒104 東京都中央区銀座7-16-3 Tel 03-3541-4411(代)

Fax 03-3541-4460

平成8年10月号 No.443

規制緩和に関する論点公開に対する 意見書提出

当協会は、7月25日に公表された行政改革委員会規制緩和と小委員会(委員長・宮崎勇氏)による「規制緩和に関する論点公開」中の「著作物の再販売価格維持制度の見直し」に対し、再販問題プロジェクト(座長・乙骨剛理事)を中心に検討を重ねた結果、再販制度の意義を訴える意見書を取りまとめ、9月26日付で規制緩和と小委員会へ提出しました。

意見書の要旨は、以下の通りです。

1 「著作物」についての本質的議論が必要

平成3～4年にかけて、公正取引委員会は、「再販適用除外が認められる著作物の範囲については、著作権法上の著作物と同一のもの」と解する必要はなく」との考えに立ち、公取委独自の判断により音楽用CDの

再販の適用を認めないという考えを示しました。しかしながら「独占禁止法上再販適用除外が認められる著作物の取り扱いを明確にするためには、法的安定性の観点から、立法措置によって対応するのが妥当」とし、今後、再販適用除外が認められる著作物の範囲について幅広い角度から総合的な検討に着手することと軌道修正をしました。

その後、公取委は、その管下の小委員会を設け、昨年7月には、この小委員会による「中間報告書」を発表しましたが、その内容は、依然として「総合的」な視野に欠け、競争政策万能を基本としているため、当業界、書籍出版、新聞業界が強く反対を主張し、議論が続いています。今回の論点公開で示された再販撤廃推進論には、「立法措置による対応」を前提とする「幅広い」「総合的」な意見は見当たらず、そこには、著作物の本質に係る議論をあえて避けようとする意図さえ感じられます。現代社会の大きな潮流となつていく「デジタル化・ネットワーキ化」

への対応は、米国における「NII(全米情報基盤)」に見られるごとく、21世紀に向けての重要な国家施策の一つとなつていきます。そして、そのひとつのための重要課題が、新しい視点に立った著作権制度の整備なのです。こうした動きも考慮に入れながら、前回、公正取引委員会が発表した著作物の取り扱いをどう明確化し立法措置により対応するのか、今こそ、長期的視野に立った、掘り下げた議論が必要です。

2 「規制緩和」が目指す「目的」を實現している我が国のレコード業界

「規制緩和」の視点でも、我が国のレコード業界は、行政改革委規制緩和と小委員会が目指すところの「規制緩和」の目的を十分に先取りし、成果を挙げています。

そもそも「規制緩和」が目指す目的は、昨年3月に閣議決定された規制緩和推進計画に「我が国経済社会を国際的に開かれたものとし、自己責任原則と市場原理に立つ自由な経済社会としていくことを基本として、①消費者の多様なニーズに対応した選択の幅の拡大、内外価格差の縮小等により国民生活の質の向上を目指す。②内需の拡大や輸入の促進、事業機会の拡大策を図り、対外経済摩

擦の解消等に資する。③国民負担の軽減、行政事務の簡素化を図る……」とされています。

我が国のレコード業界の現状を鑑みると、内外及び製販の全分野にわたって大変開かれた市場を形成しており、規制緩和推進計画が目指すところを十二分に実現しています。再販制度が商品の多様性を実現させ、規制緩和推進計画が目指す「質の高い国民生活の実現」に資しています。我が国においては、昭和42年よりレコードの資本自由化が認められ、

いわゆる世界の音楽産業の6大メジャーが自由に我が国に資本投下を行い音楽事業の拠点を確保しておりますが、その事業者数は当協会加盟社の場達し、これら外資系企業の我が国におけるシェアは36%に及んでおります。また、音楽用CD等の製品輸入も、年々数量を増加させています。我が国からの輸出実績と比して13倍強の入超です。

また、外資の参入は、ここ数年流通段階においても積極的な事業展開が行われています。「タワーレコード」「ヴァージン・メガストア」「HMV」の世界的な巨大レコード小売商が、次々と大規模レコード店を開店させており、その店舗数は、96年8月末現在66店にも及びます。しかも、これ等の外資小売店はそれぞれの地域

で売り上げの1〜2番を競う店となっており、推定ではこれら外資小売店の占めるシェアは10数%に達するものと推定されています。

更に内外価格差を取り上げ問題視される面がありますが、ライセンス契約上の制約からマーケットが日本に限定され、かつ社会的コストが割高にもかかわらず我が国においては輸入盤との競争の中で、メーカーは可能な限りの競争価格を打ち出しているのが現状です。

また、邦盤においても年々スタジオ使用料やアーティストの報酬等がアップする中で10数年來値下げの努力が続けています。

このように、レコード業界は製販両面にわたり、広く開かれた市場の中で内外のメーカー及び小売店が激しい競争を展開しているの現状です。

3 著作物商品の特性に基づく、再販制度の必要性

著作物商品は、日用品等の商品とは本質的に異なるものです。昭和28年の独禁法改正時に、再販制度の中に指定再販制度と、法定再販制度の2種類の対応を設けたのも、正にこの基本認識に基づくものです。そして、観念的文化商品としての著作物商品を再販商品としたことは、著作

物商品が一国の文化政策と深く係わり合いを持っており、文化政策的見地から、単なる効率性を適用するだけでなく、「文化の多様性」を視点に据えた対応が必要であるとの理由に基づくものです。

歴史を彩る「文化」は、人々の多彩な精神活動によって生み出され、その多様な産物の中から、時代に洗われて残されていくものです。そして、再販制度が、現実的に著作物商品の市場において「商品の多様性」を実現しています。

即ち、我が国では、1年間に、我が国の2倍の市場規模でレコードの再販制度のない米国の約3倍の種類の商品発売しています。

また、我が国のレコード業界は、公正取引委員会の指導もあり、平成4年から「廃盤セール」を実施しておりますが、この廃盤セールは、カタログから抹消された廃盤商品を定価の70%引きで販売していますが、過去4年間の実績をみても、「セール」に出品した商品の25%しか消化できません。

このことから消費者にとつての著作物商品の購買動機は、「価格」が一番ではなく、あくまで自分の趣味趣向に合っているかどうかであり、そのためには、自分の趣味趣向に合った商品を選び出せる商品の多様性が、

最も重要な要素といえます。

著作物商品の再販制を撤廃することは、流通における小売段階での「価格」という極く限られた部分の競争を実現させますが、逆に、著作物商品の持つ文化性にマイナスの影響を与えると共に、著作物商品についての最大の消費者利益である商品の多様性を失わせます。

4 その他「規制緩和推進の個別意見」に対する意見

(1)レコードの価格について

「レコードの価格を硬直的にし、小売店間の競争が制限されることによって革新的な小売店及び消費者の利益が損なわれている」との意見があります。総務庁発表の物価指数でも明らかのように、90年の物価指数を100とした場合、95年度の総合消費者物価指数は107・0で、音楽用CDの指数は98・6と、逆に価格が低下しています。また、CD発売前のアナログ・レコードの時代でも、81年の物価指数100とした場合、90年度の総合消費者物価指数は117・4で、レコードの指数は96・6となっています。

このように過去15年間音楽用パッケージ商品価格はむしろ低下しています。

なお、レコード商品の主流となる邦盤の12cm CDの編集物等を含む発売商品の価格は、1,000〜3,600円の幅で設定されており、この中でオリジナル・アルバムの価格は83年当時は3,500〜3,800円でしたが、現在は2,000〜3,000円となっています。

(2)音楽用CDのおとり販売が「公益を書さない」との意見について

音楽用CDのおとり販売については、一部ディスクカウントショップでのゲリラ的な廉価販売や、著作権法の盲点をついたグレー商品の駅コンコース等での安売りに見られるように、再販制度撤廃後は、特に若年層の集客のために利用されるのは必至です。

これに対し、再販撤廃の意見では「仮におとり販売の対象となつたとしても、他の商品に比し特に公益を害する特例の事情を認めにくく……」と主張されていますが、独禁法上、最も問題とすべき不正な競争を容認するような姿勢を示している点は理解に苦しみませう。

(3)映像商品との比較等について

「同じ著作物である映像商品には再販制度がない」との意見がありますが、映像関係商品には、著作権法で頒布権が認められており、権利者の意向を無視したレンタルや中古販売、輸入等の不当な流通に対して規

制できる法制度となっています。

一方レコードにはこのような権利がなく、著作権法上は大変不公平な扱いとなっています。

前述の通り、著作物商品の再販制度は文化政策的意図の下に法定化されたものであり、独占禁止法24条の2。4項の規定は、我が国の法体系の中では、文化政策的見地から著作権法と相互補完的な密接な関係を有するものと思われませう。

我が国では「レコード」は著作権法上「著作隣接権」の対象として扱われ、「著作権」の対象として保護される映像商品に比し、その保護が希薄となつておりますが、現実においてそれを補っているのがレコード等の再販制度なのです。

さらに、「我が国に貸レコード業が存在するのは、我が国のレコードが高価格……」との主張がありますが、CD等が我が国とほぼ同レベルの小売価格となっている西欧の諸国においても貸レコード業が存在しないのは、これらの国々においてレコード製作者が我が国よりも強力な貸与権（貸与権の存続期間が日本は1年間でありますが、これ等の国では50年間存続する）を有しているためなのです。この辺りにも我が国における著作権上の保護のアンバランスが見受けられます。以上

著作権法改正案、著作権審議会総会を通過

著作権審議会の第一小委員会は、著作権法改正に関する5項目を検討してきましたが、9月20日の同審議会総会にその検討結果を報告し、3項目については早急に国会へ改正法案を提出し、残る2項目については引き続き検討されるべきであると同総会において承認されました。これを受け、文化庁は、①著作隣接権の遡及的保護の拡大について②執行・罰則規定の整備について③写真の保護期間の見直しについての3項目で法案作成に入ることとなります。

この3項目に対する第一小委員会の意見の概要は以下の通りです。

- ①知的所有権分野における先進国の一つとして、国際的な協調を一層進めるため、日本においてもWTO加盟国の実演下等の隣接権の保護を50年間遡及することが適切である。また、国内の実演等の隣接権についても、WTO加盟国の権利者の保護との間にバランスを失しないよう、同様の保護を図ることが適当である。
- ②著作権に関する法的紛争の多様化、複雑化、及び、他の知的所有権法制とのバランスを図るため、紛争の円満な解決とその未然の抑止を目的と

して、損害額を立証するための書類の提出を裁判所が命令できる旨の規定を設けることと、罰金刑の上限額を引き上げることが適切である。

③世界的状況をみると写真の著作物と他の著作物の保護期間を同様にすることが大勢となつてきていること、著作者の氏名表示のルールも整備されてきたことに鑑み、写真の著作物の保護期間を死後50年とすることが適切であると考えられる。

また、同委員会の他2項目に対する意見の概要は以下の通りです。

- ④（著作権の保護期間の延長について）保護期間の70年への延長の意義を具体的に検討する必要があると考えられるため、国際的動向に留意し、関係者の理解の進展を図りつつ、法律改正について引き続き検討を進めていくべきものと考えられる。
- ⑤（録音物の再生演奏について）著作権法附則第14条の廃止については、利用者の理解を深め、円滑な権利処理ルールの整備への具体的取組みを推進する必要があるが、できるだけ早期に法律改正を行う方向で、今後も積極的に検討を進めていくべきものと考えられる。

日本レコード協会 ミリオン以上認定作品

【シングル編】

1988年以後のレコード協会認定作品の一覧です。(96年7月末現在)

●2ミリオン

愛は勝つ/KAN/900901(PO)
 LOVE LOVE LOVE/嵐が来る/DREAMS COME TRUE/
 950724(SME)
 君がいるだけで/米米CLUB/920504(SME)
 SAY YES/CHAGE&ASKA/910724(PC)
 YAH-YAH-YAH/CHAGE&ASKA/930303(PC)
 Tomorrow never knows/MR. CHILDREN/941110(TF)
 名もなき詩/Mr. Children/960205(TF)
 OH! Yeah!/ラヴ・ストーリーは突然に/小田和正/910206(FUN)
 愛のままにわがままに僕は君だけを傷つけない/B'z/930317(BM)
 DEPARTURES/globe/960101(AVT)

●クワドラプル・プラチナ

エロティカ・セブン/サザンオールスターズ/930721(V)
 ロマンズの神様/広瀬香美/931201(V)
 奇跡の地球/桑田佳祐&Mr. Children/950123(V/TF)
 世界中の誰よりきっと/中島美穂&WANDS /921028(K)
 負けないで/ZARD/930127(BG)
 TRUE LOVE/藤井フミヤ/930922(TO)
 TOMORROW/岡本真夜/950510(TJC)
 LA・LA・LA LOVE SONG/久保田利伸 with ナオミ・キャン
 ベル/960513(SME)
 恋しさとせつなさと心強さと/篠原涼子 with t.komuro/940721
 (SME)
 どんなくも。/植原敬之/910610(WJ)
 innocent world/Mr. Children/940601(TF)
 シーズンゲーム〜勇敢な恋の歌〜/Mr. Children/950810(TF)
 花-Memento-Mori-/Mr. Children/960410(TF)
 それが大事/大事MANブラザーズバンド/910825(FUN)
 BLOWIN'/B'z/920527(BM)
 裸足の女神/B'z/930526(BM)
 LOVE PHANTOM/B'z/951011(BM)
 おどるポンポコリン/B.B.クイーンズ(BV)
 HELLO/福山雅治/950206(BV)
 ロード/THE 虎舞竜/930121(ME)
 WOW WAR TONIGHT〜時には起こせよムーヴメント〜/H
 Jungle with t/950315(AVT)

●トリプル・プラチナ

涙のキッス/サザンオールスターズ/920718(V)
 愛の言霊〜Spiritual Message/サザンオールスターズ/960520(V)
 空も飛べるはず/スピッツ/940425(PO)
 ロビンソン/スピッツ/950405(PO)
 チェリー/スピッツ/960410(PO)
 もっと強く抱きしめたなら/WANDS/920701(BG)
 時の扉/WANDS/930226(BG)
 真夏の夜の夢/松任谷由実/930726(TO)
 DIAMONDS/プリンセス・プリンセス/931001(SME)
 悲しみは雪のように/浜田省吾/920201(SME)
 はじまりはいつも雨/ASKA/910306(PC)
 KNOCKIN' ON YOUR DOOR/L-R/950503(PC)
 空と君のあいだに/ファイト!/中島みゆき/940514(PC)
 もう恋なんてしない/植原敬之/920525(WJ)
 PIECE OF MY WISH/今井美樹/911107(FL)
 Hello, Again〜昔からある場所〜/MY LITTLE LOVER/
 950821(TF)

ALICE/MY LITTLE LOVER/960422(TF)
 everybody goes - 秩序のない現代にドロップキック/Mr.
 Children/941203(TF)
 [es] ~Theme of es~/Mr. Children/950510(TF)
 クリスマスキャロルの頃には/稲垣潤一/921028(FUN)
 BAD COMMUNICATION/B'z(BM)
 LADY NAVIGATION/B'z/910327(BM)
 ZERO/B'z/921007(BM)
 Don't Leave Me/B'z/940209(BM)
 ねがい/B'z/950531(BM)
 love me, I love you/B'z/950707(BM)
 ミエナイチカラ〜INVISIBLE ONE ~/B'z/960306(BM)
 Real Thing Shakes/B'z/960515(BM)
 ぶるい女/シャ乱Q /950503(BV)
 I'm proud/華原朋美/960306(P)
 揺れる想い/ZARD/930519(BG)
 ら・ら・ら/大黒摩季/950220(BG)
 クライジー ゴナ クレイジー/trf/950101(AVT)
 masquerade/trf/950201(AVT)
 Chase the Chance/安室奈美恵/951204(AVT)
 Don't wanna cry/安室奈美恵/960313(AVT)

●ミリオン

愛が生まれた日/藤谷美和子/大内義昭/940221(C)
 あなただけを/サザンオールスターズ/950717(V)
 愛を語るより口づけをかわそう/WANDS/930417(BG)
 Hello, my friend/松任谷由実/940727(TO)
 春よ、来い/松任谷由実/941024(TO)
 あなただけ見つめてる/大黒摩季/931210(BG)
 決戦は金曜日/太陽が見てる/DREAMS COME TRUE/920919
 (SME)
 go for it!/雨の終わる場所"/DREAMS COME TRUE/930909
 (SME)
 そばかす/JUDY AND MARY/960219(SME)
 OH MY LITTLE GIRL/尾崎豊/940121(SME)
 めぐり逢い/CHAGE&ASKA/941116(PC)
 夏の日/1993/class/930421(BM)
 CROSS ROAD/MR. CHILDREN/931110(TF)
 会いたい/沢田知可子/900627(TA)
 ALONE/B'z/911030(BM)
 MOTEL/B'z/941121(BM)
 いいわけ/シャ乱Q/960424(BV)
 シングルベッド/シャ乱Q /941021(BV)
 My Babe 君が眠るまで/シャ乱Q /951021(BV)
 IT'S ONLY LOVE/福山雅治/940324(BV)
 このまま君だけを奪い去りたい/DEEN/930310(BG)
 世界が終わるまでは.../WANDS/940608(BG)
 君がいない/ZARD/930421(BG)
 GOING GOING HOME/H Jungle with t/950719(AVT)
 survival dAnce~no no cry more~/trf/940525(AVT)
 OVERNIGHT SENSATION~時代はあなたに委ねてる~/trf/
 950308(AVT)
 You're my sunshine/安室奈美恵/960605(AVT)
 突然/FIELD OF VIEW/950724(ZA)

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成8年8月度(96年7月21日~96年8月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST 5			
1.	マシンガンをぶっ放せ	-Mr.children Bootleg Mr. children	(TF)
2.	涙の影	シャ乱Q	(BV)
3.	BELOVED	GLAY	(PO)
4.	SQUALL	氷室京介	(PO)
5.	Another Orion	藤井フミヤ	(PC)
■洋楽シングル BEST 5			
1.	あなたにいてほしい	スウィング・アウト・シスター (MME)	
2.	オール・アット・ワンス	ホイットニー・ヒューストン (BV)	
3.	TOUGH OF YOUR LOVE	ミー・アンド・マイ (TO)	
4.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン (WJ)	
5.	ワナビー	スパイス・ガールズ (TO)	
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST 5			
1.	SWEET 19 BLUES	安室奈美恵 (AVT)	
2.	Young Love	サザンオールスターズ (V)	
3.	SINGLES	T-BOLAN (ZA)	
4.	amiyumi	Puffy (SME)	
5.	レッド	相川七瀬 (CT)	
■クラシックアルバム BEST 5			
1.	恋人達のクラシック「ロング・バケーション」より	オムニバス (SME)	
2.	シンフォニア	村治佳織 (V)	
3.	チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」	小澤征爾指揮/サイウ・キネン・オーケストラ (MME)	
4.	ミッション・インポッシブル(オリジナルスコア版)	オリジナル・サウンドトラック (MME)	
5.	ベートーヴェン：交響曲第9番「合唱」	クラウディオ・アバド指揮/ベルリンp.o (SME)	
■洋楽アルバム BEST 5			
1.	ファースト・バンド・オン・ザ・ムーン	カーディガンズ (PO)	
2.	フィール・マイ・ヴァイブ	C. J. ルイス (MV)	
3.	DANCEMANIA 2	EX-IT他 (TO)	
4.	NOW 4	クイーン他 (TO)	
5.	イマジネーション	デニ・ハインズ (BV)	

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイチク(TE)/ポニー・レコード(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパンコミュニケーションズ(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/マーキュリー・ミュージックエンタテインメント(MME)/ポニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/バンダイ・ミュージックエンタテインメント(BME)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トラスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファミュージック(AL)/キティエンタープライズ(KT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/メルダック(ME)/TDKコア(TDK)/メディアレモラス(MR)/トイズ・ファクトリー(TF)/ハイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロッキットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AVT)/ヴァインレコーズ(ZA)/ルームレコーズ(BM)/ビーグラムレコーズ(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EPI)/カッティング・エッジ(CT)/ヴェルファレー(VF)/バルコ(QT)

8月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

8月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (22作品)

【邦楽】

- ◎ 3ミリオン
SWEET 19 BLUES/安室奈美恵(AVT)
- ◎ 2ミリオン
Young Love/サザンオールスターズ(V)
- ◎ クワドラプル・プラチナ
レッド/相川七瀬(CT)
シングルベスト10~おまけつき~/シャ乱Q(BV)
TODAY IS ANOTHER DAY/ZARD(BG)
- ◎ プラチナ
BACK TO THE BASIC/RATS&STAR(SME)
amiyumi/Puffy(SME)
Vanity Fair/松田聖子(MME)
SMAP009/SMAP(V)
SINGLES/T-BOLAN(ZA)
- ◎ ゴールド
Angel Whisper/杏里(FL)
ver.1. OE LOVE LETTER FROM THE
DEGITAL COWBOY/横原敬之(WJ)
THE GREATEST HITS OF HIROMI GO
VOL. II~Ballads~/郷ひろみ(SME)
Hourglass/古内東子(SME)
SINCE 1995~FOREVER/V6(AVT)

【洋楽】

- ◎ トリプル・プラチナ
オール・ザット・シー・ウォンツ/エイズ・オブ・
ペイズ(BV)
- ◎ プラチナ
DANCEMANIA 2/EX-IT他(TO)
ファースト・バンド・オン・ザ・ムーン/カーディ
ガンズ(PO)
18 TIL I DIE/ブライアン・アダムス(PO)
- ◎ ゴールド
フィール・マイ・ヴァイブ/C. J. ルイス(MV)
イン・パラダイス/ジャネット・ケイ(SME)
セリヌ・ディオン/セリヌ・ディオン(SME)

■シングル (21作品)

【邦楽】

- ◎ ダブル・プラチナ
アジアの純真/Puffy(SME)
熱くなれ/大黒摩季(BG)
- ◎ プラチナ
涙の影/シャ乱Q(BV)
BELOVED/GLAY(PO)
SQUALL/氷室京介(PO)
ブレイクアウト!/相川七瀬(CT)
Forever Love/X JAPAN(EW)
マシンガンをぶっ放せ-Mr.Children Bootleg/Mr.
Children(TF)
- ◎ ゴールド
夢見る少女じゃいられない/相川七瀬(CT)
田園/玉置浩二(SME)
MOONLIGHT SHADOW~月に吠える~/中森明菜
(MV)
Another Orion/藤井フミヤ(PC)
more kiss./dos(PI)
LOVE BRACE/華原朋美(PI)
Green eyed Monster/LINDBERG(TE)
素顔で笑っていたい/DEEN(BG)
BREVÉ STORY/TRF(AVT)
by myself/hitomi(AVT)
セヴンティーズ/MA X(AVT)

【洋楽】

- ◎ プラチナ
あなたにいてほしい/スウィング・アウト・シスター
(MME)
- ◎ ゴールド
オール・アット・ワンス/ホイットニー・ヒュース
トン(BV)

世界の話題

■ヨーロッパ 情報化社会に向けて

IFPIはこのほど、情報化社会に向けた以下の疑問点を公表しました。

- ・国際的な相互連絡の中でレコードのネットワーク上への載せ方
- ・ユーザーの希望商品を選択するための識別方法
- ・正当な権利者への支払い方法
- ・侵害の識別方法
- ・ユーザーの受信のための互換性の確保
- ・レコードが途中で盗まれたり変更されないための安全策

この疑問への取組みとして、EUは、その指令の中でMUSEと呼ばれるIFPI主導の調査計画への基金拠出を承認しました。IFPIは、この調査結果が、レコード産業の情報化社会への参加を形成することを希望しています。

本計画は、①互換性の問題に関わりなく情報交換を可能にするための「デジタル・メディア管理システム(DMMS)」、②権利やコピーを管理するための「デジタル透かし」、③コピーの管理を容易にするための「暗号化」、の3つの事柄の推進を目的としています。

■ロシア 新刑法発効間近

IFPIは、ロシアの著作権侵害の罰則強化のため、2年間ロビー活動を続けてきましたが、同国の総選挙直前、エリツィン大統領は、

新刑法に署名をし、来年1月から新法が発効することになりました。

新法は、今まで保護されていなかった著作権と著作隣接権を保護し、同法第146条は、著作権侵害に対して以下の罰則を規定しています。

- ・著作権侵害
初犯： 2年以下の懲役
再犯： 5年以下の懲役

IFPIモスクワは、「同条は、著作権と隣接権侵害の法の抜穴を埋める非常に重要な法的ステップである。法的な権利を得ることは第一歩に過ぎない。IFPIは、この法律の実効性を確実にしようとしている」と述べました。

IFPIモスクワは、関係執行機関と作業を進めてきましたが、その成果の一つとして、海賊対策ガイドブックが作られ、全国の法律執行機関に配布されました。このガイドブックの準備を通して異なる法律執行機関が協力体制を得られたことを、重要な業績に挙げています。

(IFPIネットワーク '96 No.3)

■イギリス レコードの値引き問題

米国のシングルの安売り同様、英国でも大手小売店がシングルの価格を下げています。

多くの場合、新商品は、業界内に無料配布されます。この習慣は、知名度の高いアーティストでもなされているため、独立系のレーベルは、メジャーに太刀打ちできません。

同国内では、シングル・チャー

トの動きが速過ぎるので、ベスト20に入っても、全国ラジオで放送されません。売上げに基づくチャートに入っているのは、1週間が限度の場合が殆どです。

安売りは以下の理由により大変危険です。

- ・商品の価値を下げる。
- ・CDシングルの場合、長期間チャートに入る商品以外は、採算が合わない。
- ・レコード会社やラジオ局よりも小売店の力が強くなる。
- ・消費者は、シングル1.99ポンドに対し、CDアルバムの価格(14.99ポンド)を割高に感じる。CDシングルが発売された時、レコード会社は、アナログやカセットより高価であることを正当化するために、エキストラ・トラックの付加価値をつけましたが、そのCDシングルが今、値引きされています。

レコード会社1社がこれを超える限り、他社もこれを止めません。業界全体として、この値引き政策を直ちに止めなくてはなりません。さもなければ、業界は商品の半分以上を小売り業界に渡すことになることを危惧しています。小売業者が、同じことをアルバムに対して要求するのは時間の問題です。

新人を売り出すための値引きは、通常的手段ですが、大物アーティストの値引きは自殺行為です。

値引き問題には、他にも多くの議論があり、これは氷山の一角に過ぎませんが、私たちは、共通の目的に向かわなくてはなりません。

(ビルボード '96/9/14)

会議メモ (主なもの)

(9月1日～9月30日)

- 9・3 廃盤セールプロジェクト
- 9・3 調査統計部会
- 9・4 JASRAC委員会
- 9・5 消費者専門部会
- 9・10 技術委員会
- 9・10 営業部会
- 9・10 レコード制作基準倫理委員会

- 9・11 放送委員会
- 9・11 洋楽企画部会
- 9・11 定款改正委員会
- 9・12 二次使用料委員会
- 9・12 再販問題プロジェクト
- 9・13 著作権部会
- 9・13 放送委員会
- 9・13 著作隣接権審議会作業部会
- 9・17 邦楽制作部会
- 9・17 品質管理専門部会
- 9・17 二次使用料委員会

- 9・18 業務委員会
- 9・18 ニューメディア技術専門部会
- 9・19 Q盤セールプロジェクト
- 9・19 洋楽部会
- 9・20 洋楽宣伝専門部会
- 9・20 法制委員会
- 9・24 JASRAC委員会
- 9・25 宣伝部会
- 9・25 情報システム部会
- 9・26 ビデオ部会
- 9・27 理事会

1996年 8月レコード生産実績

数量：千枚・巻
単位
金額：百万円

表1. オーディオディスク

	8月 実績						1996年(1月～8月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	8,760	30	70	5,727	14	72	108,833	37	104	68,645	19	105
	邦	491	2	278	242	1	245	2,572	1	127	1,449	0	168
	洋計	9,251	32	73	5,969	15	74	111,405	38	104	70,094	19	106
D	邦洋計	12,700	43	128	23,681	58	148	114,837	39	114	198,813	54	115
	邦	7,238	25	106	10,892	27	107	66,360	23	106	96,547	26	103
	洋計	19,938	68	119	34,573	85	132	181,197	62	111	295,360	81	111
D小計	邦洋計	21,461	73	95	29,408	72	123	223,670	76	109	267,458	73	113
	邦	7,728	26	110	11,134	27	108	68,932	24	106	97,997	27	104
	洋計	29,189	100	99	40,542	100	118	292,602	100	108	365,455	100	110
アログ	邦洋計	46	0	164	69	0	252	402	0	201	511	0	181
	邦	25	0	260	38	0	205	134	0	104	206	0	81
	洋計	71	0	189	107	0	233	536	0	163	717	0	133
合計	邦洋計	21,507	74	95	29,477	73	123	224,072	76	109	267,969	73	113
	邦	7,754	26	110	11,172	27	108	69,066	24	106	98,203	27	104
	洋計	29,260	100	99	40,649	100	118	293,137	100	109	366,172	100	110

表2. オーディオテープ

	8月 実績						1996年(1月～8月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	1,511	99	79	1,372	99	86	14,301	99	93	12,254	98	94
	邦	10	1	88	17	1	123	161	1	93	201	2	107
	洋計	1,521	100	79	1,389	100	86	14,462	100	93	12,455	100	94
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	1,511	99	79	1,372	99	86	14,301	99	93	12,254	98	94
	邦	10	1	88	17	1	123	161	1	93	201	2	107
	洋計	1,521	100	79	1,389	100	86	14,462	100	93	12,455	100	94

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	8月 実績						1996年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	5,581	100	107	1,819	98	113	49,668	100	171	15,409	98	121
洋盤	8	0	66	40	2	210	105	0	80	367	2	192
合計	5,589	100	107	1,859	100	114	49,773	100	171	15,776	100	122

表4. ビデオレコード

	8月 実績						1996年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	967	40	95	3,291	34	108	8,593	38	93	25,340	34	92
テープ	1,450	60	85	6,394	66	114	13,745	62	91	49,849	66	95
合計	2,417	100	89	9,685	100	112	22,338	100	92	75,189	100	94

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	8月 実績						1996年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	30,781	79	98	42,038	78	117	307,599	81	108	378,627	81	110
複合型CD	5,589	14	107	1,859	3	114	49,773	13	171	15,776	3	122
ビデオ	2,417	6	89	9,685	18	112	22,338	6	92	75,189	16	94
合計	38,787	100	98	53,582	100	116	379,710	100	112	469,592	100	107

備考 1. 本年実績は、会員会社「30社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

A.V.レコード及びblankテープ購入状況

本号は、本年5月に実施されたJNNデータバンク調査のデータを基に、オーディオ/ビデオレコードとblankテープの購入状況を図と表によって紹介します。

図 種類別購入者率

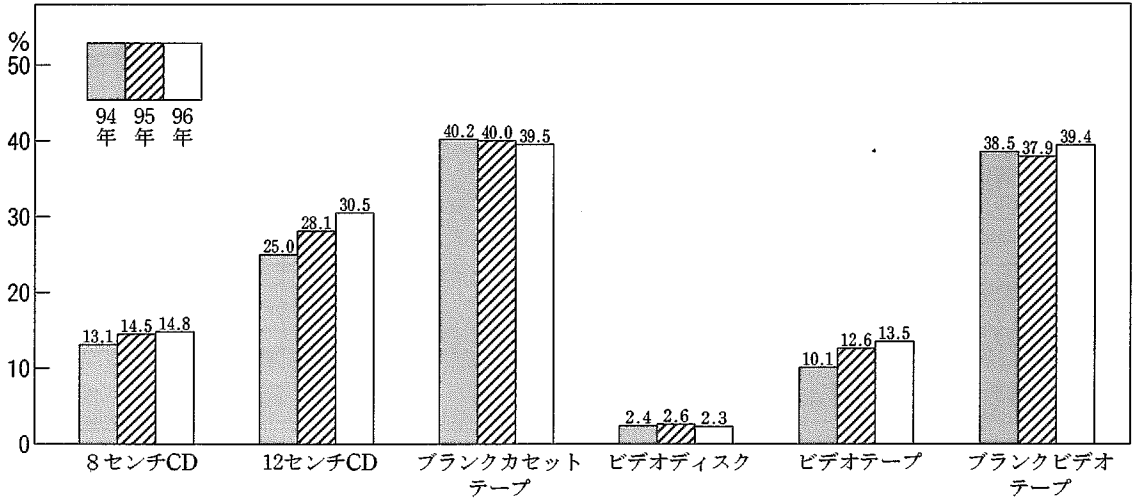


表 種類別・年代別購入者率 (1995年/1996年)

単位：%

		コンパクトディスク				blankカセットテープ		ビデオレコード				blankビデオテープ	
		8センチ		12センチ		1995年	1996年	ディスク		テープ		1995年	1996年
		1995年	1996年	1995年	1996年			1995年	1996年	1995年	1996年		
男	10代	41.5	48.4	54.8	48.0	60.6	58.9	4.6	2.4	13.7	14.5	37.8	35.1
	20代	22.1	18.9	58.6	60.9	57.2	47.4	5.2	4.6	21.6	16.3	46.8	40.0
	30代	9.4	10.4	31.6	34.4	39.4	41.6	2.9	2.8	17.6	16.1	50.8	56.5
	40代	10.5	10.8	18.6	27.1	26.6	31.7	1.7	1.9	8.9	10.3	41.0	48.0
	50代	4.2	5.8	11.9	14.5	24.6	25.0	1.8	4.0	8.4	9.8	30.2	34.1
	60代	2.1	2.6	6.8	13.0	24.2	20.8	1.6	1.6	8.4	7.3	28.4	35.4
	男性全体	15.0	16.0	31.6	34.6	39.1	38.2	3.0	3.0	13.5	12.7	40.3	42.5
女	10代	41.6	40.8	42.0	45.8	72.0	69.2	4.3	2.1	12.1	19.6	38.9	39.6
	20代	17.2	13.9	49.4	46.2	59.0	55.0	2.8	2.3	18.4	18.1	39.5	40.2
	30代	13.7	13.0	23.6	29.3	39.3	40.4	1.7	2.5	20.2	21.9	51.0	47.2
	40代	7.8	11.5	12.3	17.3	31.9	37.2	2.0	1.6	7.8	9.9	33.3	41.6
	50代	3.7	4.1	10.4	12.1	23.5	23.1	1.3	0.7	5.0	6.2	27.2	25.9
	60代	1.4	1.4	6.1	4.6	15.0	16.4	0.9	0.9	2.3	9.1	15.0	14.6
	女性全体	14.1	13.7	24.8	26.5	40.9	40.7	2.2	1.7	11.7	14.3	35.6	36.3
全体	14.5	14.8	28.1	30.5	40.0	39.5	2.6	2.3	12.6	13.5	37.9	39.4	

(注) 購入者率は、各年とも5月の調査時点から遡った6ヶ月間にレコードを購入した人の割合。